

議会だより みなみさんりく



2・3歳児「親子で遊ぼう」

No.14

平成21年5月発行

P 2 特集 まちづくり予算を決定

P 8 情報公開条例の一部改正など（議案審議）

P 12 ここが聞きたい（一般質問）

P 22 よりよいまちづくりを（委員会調査報告）

P 23 請願・陳情・意見書

特集

まちづくり 予算を決定

3月定例会議は、条例の制定や一部改正などの議案を審議しました。さらに、予算審査特別委員会（鈴木春光委員長）を設置し平成21年度予算について集中して審議を行い、提案された議案全てを原案のとおり可決しました。

予算編成の基本方針を問う

町長が今年度の町づくりの指針となる施政方針を表明し7人の議員から22件の総括的な質問が行われました。その内容をお知らせします。

農林振興に

具体策を

鈴木 春光議員

問 (1)三陸道の志津川・歌津間の事業化が決定した。着工時期と対策室設置は。

答 時期は未定。対策チームでまちづくりを検討中。

問 (2)農林振興の具体策に欠ける。国の政策で、農家の所得は低迷し、生活が容易ではない。予算をもっと注入すべきだ。

答 減反や食料自給率の問題、木造住宅の建設等関係先と連携し、種々取り組む。

問 (3)ふるさと納税の活用方法は。

答 ヘルパー養成と耐震化、街なか交流館の整備に活用。

問 (4)入谷横断1号線は通学

路でもあり、着工を急げ。答 財政の裏付けが必要で、手順を踏んで整備していく。

水産業の振興と

担い手づくりは

佐藤 門哉議員

問 (1)街なか交流館建設の目的は。

答 観光振興、交流の拠点とし、宝くじの助成金2500万円を使う。

問 建設地附近に、汐風カフェを借用中。観光振興ならJR志津川駅前が良いのでは。

答 町の借用期間は3月迄。

問 (2)漁業振興と後継者の育成は。

答 サケ、ヒラメ、アサリの中間育成と担い手育成、つくり育てる漁業に力を入れる。

問 (3)旧魚市場施設と環境改

善は。

答 老朽設備の解体と環境整備、土地の活用は漁協と協議する。

問 (4)全国学力テストの結果を公表し、学校、家庭、地域で協力し、学力向上を目指すべき。

答 教委と連携を取るが、町としては、公表はしない。

問 (5)給食センターへの指定管理者導入と給食費改定の内容は。

答 導入は可能だ。小学校は年間1100円の値上げ。中学校は回数減らし、値上げはしない。

問 (6)地方自治は「住民の住民による住民のため」に運営される。協働型町政転換への取り組みは。

答 住民が主体的に自分の地域づくりはどう取り組むかを喚起させる事が行政の使命。

問 (7)自主財源確保のため、職員数削減と給与の見直しは。

答 職員の削減は取り組んでいる。特別職給与は減額中

病院の意識改革を

大瀧りう子議員

問 (1)農業振興には担い手づくりが大切。具体的な政策は。

答 担い手の意欲が先づ大事だ。その上で、支援と相談体制を整え、相談に乗りたい。

問 (2)保育所の新築と民間施

設との機能分担の意味は。

答 審議会に諮り、年度内に方向性を出したい。民間の保育園などの機能分担だ。

問 (3)院長を中心に院内の意識改革が必要だ。病院のあり方は。

答 地域医療は公立病院と民間医療機関が連携をとり、町民の健康を守る事が使命だ。

教育旅行への

取り組みは

山内 昇一議員

問 (1)体験型教育旅行の取り組みは。

答 観光協会で旅行業登録を取り、教育旅行に力を入れる。

問 (2)中山間直接支払制度の継続は。

答 次期対策は7月頃予定。

限られた予算を

有効に使い

佐々木 弘議員

問 毎年1億円以上の不用額が出ている。21年度は不用額が出ないよう予算執行を。

答 予算は概算見積もりであり、入札の結果、差金が出る。定例、臨時議会で補正をし、極力不用額を縮小すべき。

答 限られた財源を有効に使



高額給料は

ストレス代か

今野 雄紀議員

問 (1)総合計画は町長、職員

で、職員給与は人事院勧告に従うべきだが、予算編成上厳しくなれば、給与カットもありうる。

答 総合計画は抽象的だが、細部は実施計画で実行する。

問 実施計画もコンサルタンに頼み、策定しているのか。

答 必要な部分、技術的指導は受け、丸投げはしてない。

問 (2)職員の平均給与750



えとの指摘であり、大切な税金は大事に使ってきたい。

産業振興に

「推進室」の設置を

三浦 清人議員

問 (1)「財政が厳しい、予算がない、財源不足だ」というが、なぜそうなのか。住民は理解していない。住民への説明責任は。

答 広報等で情報を出しているが、読まない現実もある。説明方法について検討する。

問 (2)産業の衰退を打破するため産業振興課に「推進室」を設置し、踏み込んだ行政指導を。

答 一次、二次、三次産業を統一し、産業振興課を設置した。組織は時代により柔軟な対応も必要で検討したい。

まちづくりとくまのこころで詳細に審査 — 予算審査特別委員会 —

総合的な質疑のあと、より詳しく予算内容を審査するため予算審査特別委員会が設置、開催され、各種予算について集中的な審議がなされました。

財産の取得・収入の確保対策は

佐藤 門哉委員
問 旧ゴルフ場予定地が競売される。町が取得しては。
答 実効性ある利用計画もない。現時点で考えていない。
三浦 清人委員
問 100町歩を取得するチャンスだ。参加すべきでは。
答 これまで複数の企業に、有効利用を求めてきたが実行に至っていない。塩漬けになる可能性が高く取得は難しい。
今野 雄紀委員
問 観光墓地園にしては。
答 以前宗教法人で墓地の話があり、猛反対を受けた。
佐藤 栄委員
問 土地を協力した地権者の想いもあり、有効利用されるよう目を光らすべきだ。
答 開発には申請が必要となるし、固定資産税の納税義務者として所有者が明確になる。

答 私立保育園の役割も重要で、充実を図る目的である。
山内 孝樹委員
問 特定間伐事業は森林組合を通さずに行けるのか。
答 役場でも受け付けている。個人事業者でも行える。
西條 栄福委員
問 ネットの公売実施状況は。
答 県の派遣職員の手導で2回実施、25点が売却できた。
千葉 教行委員
問 中小企業振興資金を扱う金融機関の利用に偏りがある。調整の必要はないか。
答 セーフティネットの利用も増えており支障はない。
菅原 辰雄委員
問 配食サービスのシステムの内容は。
答 保健センターを使って、給食ボランティアが1食400円で調理し食事を提供中。近所に限り配食も行う。
山内 昇一委員
問 中山間直接支払交付金の流用は可能か。
答 交付要綱で限定される。
三浦 清人委員
問 公債費（借入金）の返済額1億6千万円、利息2億円と財政が厳しいことを、町民に説明する必要がある。
答 国の一次・二次補正及び新予算で、課題が一部解消できた。広報で知らせる。

有効かつ適正な予算の使い方は

佐藤 門哉委員
問 インターネットの議会中継の映像を鮮明にできないか。
答 財政も厳しいが対応を検討する。
及川 均委員
問 これまで契約講等は不動産登記ができなかった。法改正で市町村長の認可で、法人格を有し登記可能になった。当町では未実施だがなぜか。
答 町のPRが不足した。行政区長会等でPRに努める。
山内 孝樹委員
問 歌津支所の宿直業務が廃止・警備保障へ移行されるが有事への対応は万全か。
答 支所への電話は本所に転送され、宿直員から支所管理体制マニュアルに従い職員に連絡する。
菅原 辰雄委員
問 町民バス・乗り合いタクシーに回数券利用は可能か。
答 事業者と協議し前向きに考える。
山内 昇一委員
問 バス・乗り合いタクシーの利用者数と補助金の増減は。
答 年間約5万人が利用。利用者数により増減がでる。
大瀧りう子委員
問 役場庁舎内のエコへの取り組みと進捗状況は。
答 対策チームを編成し節電・節水やゴミ減量化として



問 町民バス・乗り合いタクシーに回数券利用は可能か。
答 事業者と協議し前向きに考える。
山内 昇一委員
問 バス・乗り合いタクシーの利用者数と補助金の増減は。
答 年間約5万人が利用。利用者数により増減がでる。
大瀧りう子委員
問 役場庁舎内のエコへの取り組みと進捗状況は。
答 対策チームを編成し節電・節水やゴミ減量化として

コピー用紙の裏面利用や会議でも紙の節約をしている。
山内 孝樹委員
問 街なか交流館の利用目的は。宝くじ事業2500万円は、他に充当できないか。
答 観光振興・交流の拠点で、限られた時間の申請なので、新しい事業は難しい。

佐藤 門哉委員
問 歌津地区にも観光、交流の場があつていいのでは。
答 当然必要であり、観光振興策の中で検討する。
佐藤 雅昭委員
問 建物の設計を職員ができないか。
答 寄贈を受けた蔵に使用の部材も有効活用するため、専門家の設計が必要である。
今野 雄紀委員
問 建物の具体的なデザインを考えているのか。
答 南三陸町、エリアにふさわしいデザインに配慮する。
星 喜美男委員
問 十日町とした場所選定の波及効果は。
答 駅からも約10分であり、町の中に観光客が周遊することにより、商店街の活性化に結びつく。
佐々木 弘委員
問 交流館と隣接し、道の駅建設の考えは。
答 道の駅は観光の拠点施設であり、三陸道開通後のまちづくりとして、検討が必要である。
三浦 清人委員
問 財政難で、民間に委託する施設もある中、借地に交流館建設は疑問である。今後の

質借料は。
答 具体的に決まっていな
大瀧りう子委員
問 住民検診受診者数は。
答 保険者の50%25000人の目標に20000人が受診。
山内 孝樹委員
問 ゴミ・資源物収集委託料の減少理由は。
答 入札の結果である。
佐藤 門哉委員
問 病院への繰出金3億1千万円の根拠は。
答 これまでの経過も踏まえ、予算措置をした。
佐藤 雅昭委員
問 健康増進計画の委託料は。
答 パンフレット作成方法など一部専門家に委託する。
今野 雄紀委員
問 ゴミ集積所で見苦しい所もあり一斉点検も必要では。
答 各地区の設置であり地区にまかせてある。
及川 徹委員
問 救急車での搬入病院は決めているのか。
答 第一に公立病院だが、病

住民の安心・健康づくりの対策は

大瀧りう子委員
問 現在、約1000件。
佐藤 門哉委員
問 病院の赤字は、町としてどう考えるか。
答 赤字を出さない方向で進め、赤字は町で補てんする。
及川 徹委員
問 病院のベット数を減らして大丈夫か。
答 実績上、十分足りる。
今野 雄紀委員
問 病院の交際費は十分か、今年度はいくら使ったか。
答 交際費は十分。今年度の使用額は2万円程度。

大瀧りう子委員
問 現在、約1000件。
佐藤 門哉委員
問 病院の赤字は、町としてどう考えるか。
答 赤字を出さない方向で進め、赤字は町で補てんする。
及川 徹委員
問 病院のベット数を減らして大丈夫か。
答 実績上、十分足りる。
今野 雄紀委員
問 病院の交際費は十分か、今年度はいくら使ったか。
答 交際費は十分。今年度の使用額は2万円程度。

子供からの老人までの対策は
菅原 辰雄委員
問 ふるさと緑の創造事業は。
答 緑化活動に対し補助するものである。
問 耕作放棄地対策協議会への補助金は。
答 食料自給のための作物植えつけの補助。
西條 善昭委員
問 短期農業実習体験の受け入れは。
答 受け入れが決まれば協力したい。

地域活性化への産業振興策は



▲ 街なか交流館の建設予定地を調査

菅原 辰雄委員
問 健康増進計画の委託料は。
答 パンフレット作成方法など一部専門家に委託する。
今野 雄紀委員
問 ゴミ集積所で見苦しい所もあり一斉点検も必要では。
答 各地区の設置であり地区にまかせてある。
及川 徹委員
問 救急車での搬入病院は決めているのか。
答 第一に公立病院だが、病

大瀧りう子委員
問 現在、約1000件。
佐藤 門哉委員
問 病院の赤字は、町としてどう考えるか。
答 赤字を出さない方向で進め、赤字は町で補てんする。
及川 徹委員
問 病院のベット数を減らして大丈夫か。
答 実績上、十分足りる。
今野 雄紀委員
問 病院の交際費は十分か、今年度はいくら使ったか。
答 交際費は十分。今年度の使用額は2万円程度。

問 減反の選択制をどう考えているか。

問 活用センターの講師謝金増額の理由は。

佐藤 門哉委員

生活基盤整備の方策は

山内 昇一委員

問 入谷横断線の着工は。

答 選択制は決定しておらず、現状維持の声を県にも届きたい。

答 講演回数と受講生が増えたため。

問 街なか交流館建設地には同様施設もある。観光施設なら駅付近がよかつたのでは。

問 ルート決定後に着手。

山内 昇一委員

問 ホタテ養殖は近代化資金の対象か。

答 観光協会利用施設整備の位置づけではなく、交流・情報提供としての施設である。

問 町単事業の道路新設改良工事費は。

問 農業廃プラスチックの処理負担金は。

答 稚貝購入も対象になる。

問 町単事業の道路新設改良工事費は。

答 工事費は約2千万円。

佐藤 門哉委員

問 シルバー人材センターの雇用形態が変わった内容は。

答 今後検討したい。

問 住宅の耐震基準に見合う事業見直しは。

答 収集に係る事務費。

大瀧りう子委員

問 今後検討したい。

問 今年度、住宅10軒が対象の予定。

問 海藻群落再生支援事業の内容は。

佐藤 門哉委員

問 民芸クラフトの展開でタコグッズは。

問 除雪の委託回数と支払い方法は。

問 要請のある漁港浚渫工事の取り扱い。

問 旅行サボートセンター・民芸品開発の件費以外の使途と補助終了後の事業計画は。

問 企業立地奨励金の会社の業務内容は。

問 近年の平均は3回、稼働時間で支払う。

及川 均委員

問 アワビ養殖補助事業の方向性を再考すべき時期では。

答 研磨・鉄骨製造の2社。

問 三陸縦貫道の小森と磯の沢インターは同時開通か。

答 貴重な水産資源であり資源確保のため調整に努める。

三浦 清人委員

問 委託先は森林組合でつづじの手入れや刈である。

問 従来の設計で供用を考慮しており同時は無理と思う。

今野 雄紀委員

問 補助期間以降、私立子育て施設支援に支障はないか。

問 観光看板設置が歌津地区2ヶ所・志津川地区1ヶ所、神割崎公園である。

問 水道事業で4千万円の利益を出しながら、なぜ石綿セメント管の取替え工事ができないのか。

問 産業振興策のイベントは物売り主体になっていないか。

答 補助期間だけでもできるだけ支援に取り組み。

問 倉中は生徒数の推移を見て判断していきたい。

問 倉中は生徒数の推移を見て判断していきたい。

佐藤 雅昭委員

問 教育旅行で全域にメリツトが行きわたる運営を。

問 人工海水浴場の整備は、災害時も含め十分か。

問 中期的な展望の中で改良更新をおこなう。事故発生の際の整備は町で行う。

問 鮭鱒増殖振興会の負担金内容は。

答 現在約50戸の民泊登録がある。志津川・歌津両地区に、今後100戸以上の体制を進めたい。

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

答 耐力度調査の結果を見て建築する。

答 一時立て替えて、事業終了後、補助金が交付される。

及川 徹委員

問 町民バス（いしゃりくん）は学生の部活動に利用できないか。

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

菅原 辰雄委員

問 奨学生申請者の枠を広げ、貸付を早く実施すべき。

答 2台あり、公用利用と学生の利用も可能。

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

答 貸付要件により対応していく。

今野 雄紀委員

問 学校図書室は貸し出しを

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

問 町民バス（いしゃりくん）は学生の部活動に利用できないか。

答 2台あり、公用利用と学生の利用も可能。

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

問 奨学生申請者の枠を広げ、貸付を早く実施すべき。

答 2台あり、公用利用と学生の利用も可能。

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

答 貸付要件により対応していく。

今野 雄紀委員

問 学校図書室は貸し出しを

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

問 奨学生申請者の枠を広げ、貸付を早く実施すべき。

答 2台あり、公用利用と学生の利用も可能。

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

答 貸付要件により対応していく。

今野 雄紀委員

問 学校図書室は貸し出しを

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

問 奨学生申請者の枠を広げ、貸付を早く実施すべき。

答 2台あり、公用利用と学生の利用も可能。

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

答 貸付要件により対応していく。

今野 雄紀委員

問 学校図書室は貸し出しを

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

問 奨学生申請者の枠を広げ、貸付を早く実施すべき。

答 2台あり、公用利用と学生の利用も可能。

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

答 貸付要件により対応していく。

今野 雄紀委員

問 学校図書室は貸し出しを

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

問 奨学生申請者の枠を広げ、貸付を早く実施すべき。

答 2台あり、公用利用と学生の利用も可能。

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

答 貸付要件により対応していく。

今野 雄紀委員

問 学校図書室は貸し出しを

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

問 奨学生申請者の枠を広げ、貸付を早く実施すべき。

答 2台あり、公用利用と学生の利用も可能。

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

答 貸付要件により対応していく。

今野 雄紀委員

問 学校図書室は貸し出しを

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

問 奨学生申請者の枠を広げ、貸付を早く実施すべき。

答 2台あり、公用利用と学生の利用も可能。

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

答 貸付要件により対応していく。

今野 雄紀委員

問 学校図書室は貸し出しを

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

問 奨学生申請者の枠を広げ、貸付を早く実施すべき。

答 2台あり、公用利用と学生の利用も可能。

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。

答 貸付要件により対応していく。

今野 雄紀委員

問 学校図書室は貸し出しを

問 戸倉小体育館は耐力度調査の結果で新設か。



問 新生志津川小学校の成果は。又、地元紙の2中再編計画の報道への考えは。

答 友達との輪も広がるなど、成果は上がっている。戸



をしている。

防災対策を急げ

山内 孝樹委員

問 火災時に地区名を入れて放送できないか。

答 火災放送は広域本部からであり難しい。

山内 昇一委員

問 弘川地区に防火水槽の設置を。

答 地域の了解は得たが場所を選定中。

三浦 清人委員

問 消防団員確保に推進室の設置を。

答 行政区にまかせている。

一般会計での討論

賛成討論

大瀧りう子議員

本年度は各補助金や施設利用の見直し、学校給食費値上げ等、町民負担が進めるべきで反対する。

反対討論

星 喜美男議員

厳しい経済情勢の中で、中小企業支援策、雇用対策、各漁港整備で景気が

少数意見報告書

佐藤 門哉議員

街なか交流館建設予定地付近に汐風カフェがあり、利便性、将来性を考慮し、JR志津川駅前建設をすべきであり本案に反対。

賛成討論

星 喜美男議員

厳しい経済情勢の中で、中小企業支援策、雇用対策、各漁港整備で景気が

反対討論

大瀧りう子議員

本年度は各補助金や施設利用の見直し、学校給食費値上げ等、町民負担が進めるべきで反対する。

介護保険特別会計での討論

反対討論

大瀧りう子議員

保険料の引き上げ、介護認定変更により、保険者が生き生き暮らせる社会の実現を期待するもので、賛成する。

賛成討論

星 喜美男議員

介護事業は継続的に安定運営が図られる。高齢者が生き生き暮らせる社会の実現を期待するもので、賛成する。

議案審議

情報公開条例の一部改正など

今回は、職員の勤務時間・休暇等に関する条例、特別職の職員で非常勤の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正などについて審議され、原案のとおり可決されました。

情報公開の取り扱いは

大瀧りう子議員
問 公開条例に基づいても拒否される場合とは。
答 例えば、警察等の捜査資料や国との事務において協議中のもの。
問 情報拒否や存否応答拒否はどこで決めるのか。
答 弁護士・司法書士・民間から各1名、行政書士2名の

職員の勤務時間と給与の現状は

大瀧りう子議員
問 審査会で開示できないと決定した場合、最終的には断念しなければならぬのか。
答 異議の申し立てはできるが、最終的には司法の判断となる。
問 臨時職員は条例とは切り離している、パートは時給制で対応となる。
今野 雄紀議員
問 勤務時間が15分短縮された理由は。
答 人事院の勧告による。
鈴木 春光議員
問 住民サービスへの影響は。
答 昼休み時間は職員が交代で窓口サービスを行う。
大瀧りう子議員
問 18年度改正時に医師の給料は改正されなかったのか。
答 本棒は4・6%下がっているが、減給保障で支給金額は変わっていない。
及川 徹議員
問 医師の初任給調整手当ての基準は。



職員以外の非常勤職員の待遇は

三浦 清人議員
問 国内旅行一泊のとき、食卓料が特別職と一般職で200円の差があるのはなぜか。
答 国の基準に基づく。
大瀧りう子議員
問 社会福祉委員の報酬を日割りから年額にした理由は。
答 年度途中で退職される場合を考慮した。
問 2時間未満の会議報酬を4000円とした理由は。
答 会議により30分や1時間で終わるものがあり、3時間以上の会議に差をつけた。
今野 雄紀議員
問 審議会の数が多いが。
答 法律で決まっている制度もある。
佐藤 門哉議員
問 国内旅行時の車賃1キロ47円の根拠は。
答 旅費法に規定されているが、実際は個人車の借り上げは1キロ17円となる。
鈴木 春光議員
問 民生委員を社会福祉委員としているのはなぜか。

乳幼児医療費の改正内容は

大瀧りう子議員
問 医療費の助成を3歳未満から4歳未満の1歳のみを引き上げの理由は。
答 財政負担が増えることと気仙沼管内の動向から。
問 施行日を4月ではなく10月1日にした理由は。
答 高齢者医療制度の対応で取り組みが遅れた。

賛成討論

大瀧りう子議員
 教育委員、選挙管理委員、社会福祉委員など37の各委員は町の行政業務の一環を補っている大切な方たちである。行政区長など、なり手のない地区もあり重要な仕事を全うしてもらうためにも支給を減額する事に反対である。

賛成討論

山内 昇一議員
 委員は奉仕の精神でやっている。協働の町づくりを推進する意味からも賛成である。

国保・介護保険の改正内容は

大瀧りう子議員
問 小規模住居型児童養育事業とは。
答 養育者の住居に、5〜6人の要保護児童を養育する第2種社会福祉事業である。
問 事業者を定期的に調査する機関はあるのか。

賛成討論

大瀧りう子議員
 県への届なので県が行うものと思われる。
大瀧りう子議員
問 3%の介護保険料が助成されるが、今回の保険料に反映されているか。
答 特別の期間だけであるが充填されている。
三浦 清人議員
問 計画に特養老人ホーム建設が見込まれているが。

反対討論

大瀧りう子議員
 基準額200円の介護保険料の値上げと介護認定改正によって、サービスが低く抑えられて利用できない状態が出てくる。保険あつて介護なしにならないよう町独自の支援が必要と考え反対である。

賛成討論

星 喜美男議員
 少子高齢化が進む中、今回の改正は健全な介護保険事業の運営を図るための改正であり賛成である。

賛成討論

山内 昇一議員
 民生委員は国の任命で無報酬である。町では社会福祉委員として併任発令している。

賛成討論

大瀧りう子議員
 協力金として徴収しており、条例で規定を設けた。



病院事業の改正内容は

三浦 清人議員
問 病床利用率70%というが、自助努力の方策は。
答 何年も70%で推移している。患者数のシエアからもこれ以上は望めない。
大瀧りう子議員
問 インフルエンザなどの流行で患者が増えた時は対応できるのか。

学校給食事業の内容は

及川 徹議員
問 センター統合により歌津で勤務の職員やパート職員はどうなるか。
答 栄養士1名、調理師は12名で業務を行う。委託業務の2名はローテーションを組んで業務に従事する。
今野 雄紀議員
問 一日何食提供できるか。
答 20年は1751食、21年は1703食の予定。
三浦 清人議員
問 歌津給食センターの跡地利用は。
答 補助事業の施設なので教育財産となる。その後方針は決まっていない。
佐藤 門哉議員
問 統合での経費削減額は。
答 年1700万円見えている。
今野 雄紀議員
問 60%の稼働率になっているが、他の施設へ提供はできないか。
答 食中毒の発生のないよう、当日下ごしらえから調理まで行つて2時間以内に食べられるようにしている。他の施設への給食は難しい。



各施設の運営状況は

山内 昇一議員
問 せせらぎ公園の料金徴収の実例は。

各施設の運営状況は

大瀧りう子議員
問 石泉活性化センターの老人クラブの使用料が無料から100円になるが。
答 協力金として徴収しており、条例で規定を設けた。

三浦 清人議員
 水産振興センターの指定管理者との協議は。
答 協議し調整した結果だ。
山内 昇一議員
問 ひころの里の公園に自由に出入りしているが料金徴収の対象は。
答 入場料は、施設の入館者のみを対象に徴収している。及川 均議員
問 漁港内の利用に問題もある地区が見受けられるが指導を徹底されたい。
答 地区漁民と協議し指導に努める。



佐々木 弘議員
問 都市公園におけるボランティアの募金活動の場合は、利用料を徴収しなくともよいのでは。
答 公共、私的の募金が想定され設定をした。
大瀧りう子議員
問 公民館1回の利用時間を2時間と設定した根拠は。
答 夜間2時間の利用が多い。町民への周知方法は。
答 管理者からの周知と合わせ、町広報などで知らせる。
三浦 清人議員
問 平成の森にある体力増進室の利用料は無料にすべきでは。
答 一定の利用もあり利用促進に努力する。



佐藤 栄議員
問 折立松原公園跡地を駐車場などへ利用できないか。
答 有効利用を考える。
今野 雄紀議員
問 子供たちの遊び場・広場としての整備はできないか。
答 再整備は考えていない。
佐藤 門哉議員
問 町道路線の廃止・認定の施行日は。
答 告示日等については、議会の議決後になる。
今野 雄紀議員
問 廃止して、認定しなければならぬ事由は。
答 起点・終点が変わった場合は、議会の承認が必要だ。

平成20年度の各種事業の見直しは—補正予算—

星 喜美男議員
問 AED設置場所の周知。広報誌やネットを活用。今後マップなども検討する。
西城 善昭議員
問 減反奨励金の120万円の内容は。
答 気仙沼市の転作を当町で肩がわりした分である。
問 水尻川水門は土砂により操作に支障はないか。
答 県の方に消波堤の設置を依頼している。
山内 孝樹議員
問 田東山あずま屋のスロープは車椅子に支障ないか。
答 スペースの関係で折り返してスロープにした。
佐藤 栄議員
問 木造住宅耐震改修工事助成補助金の減額理由は。
答 3件予定が2件だった。
及川 均議員
問 予防接種の不用額は。
答 接種率が8割未満だった。
問 雇用促進奨励金の支給条件を緩和できないか。
答 6ヶ月以上を条件とし、若い労働力の定着を図る。
山内 昇一議員
問 旧火葬場跡地の処分は。
答 条例により、前寄付者に譲与した。
問 文化財保護費の委託料減額は。
答 作業がはかどったため。
大瀧りう子議員
問 公用のデジタルテレビの買い替えは町内の業者で。
答 基本的には町内の関連業者から調達したい。
問 文化講演会の講師選択に問題はなにか。
答 候補を生涯学習課で選定



佐藤 栄 議員

全国・県町村議会議長会 自治功労者表彰を受賞

2月13日に開催された県町村議会議長会総会において、佐藤栄議員が永きにわたる議員活動等の功績が認められ、全国・県議長会より表彰されました。

し、生涯学習推進協議会で検討している。
鈴木 春光議員
問 園芸特産物重点強化事業補助金の残金はなぜか。
答 菊部会のハウスの関係で一部事業縮小のため。
佐藤 門哉議員
問 定額給付金の支給開始時期は。
答 初回は3月27日を予定。
問 旧火葬場の待合室の売却単価は適正か。
答 一定の基準で算定しており適正な価格である。
千葉 教行議員
問 企業立地奨励金の減は。
答 雇用奨励金が一件のみ。
問 民俗資料を観光に生かさないか。
答 品質保持のため最低制限

問 町の財産であり利活用を検討したい。
大瀧りう子議員
問 国保税の見込みは。
答 医療費の動向による。
今野雄紀議員
問 脳ドックのキャンセル待ちは可能か。
答 事前に問診票の提出が必要のため、対応できない。
三浦 清人議員
問 後期高齢者医療広域連合への町の持ち出し分は。
答 共通経費負担金1千32万円、療養給付費負担金1億7277万円である。



議会の傍聴をしませんか。

6月16日(予定)に定例議会が開かれます。
 ● 議会を傍聴する方は議会事務局で、住所、氏名を傍聴受付簿に記入するだけです。
 ● 日程等詳しいことは議会事務局にお問合わせ下さい。
 ▶ 議会事務局 Tel.46-1375

臨時会も開催されています

第1回臨時会 (1月29日)

公の施設の指定管理者の指定について可決
 ・4月からスポーツ交流村に指定管理者制度を導入。
 町下水道条例の一部改正条例制定について可決
 ・下水道使用量が統一され、4月から決定。基本使用料や超過使用料などが変更。
 各種会計補正予算可決

第2回臨時会 (2月18日)

町税条例の一部改正条例制定について可決
 ・入湯税の税率の特例を設け、納入期限を変更。
 地域活性化等推進基金条例制定について可決
 ・地域活性化、生活対策に係る事業推進のための基金を創設。
 各種会計補正予算可決

第3回臨時会 (3月30日)

訪問看護ステーション事業の設置等に関する条例の一部改正条例制定について可決
 ・厚生労働省告示の一部改正への対応、利用料の項目整理。
 物品の取得について可決
 ・市場備品として、魚類選別用ベルトコンベア4基、タンク回転機2基、魚受台4基の契約及び財産の取得。
 建物の取得について可決
 ・子育て支援施設(志津川字城場・くろしおグラウンド内)リースの建物を取得。
 各種会計補正予算可決

一般質問

ここが聞きたい

10名登壇

一問一答

議会中継に防災無線の活用を

及川 徹議員



町長 防災無線の使用は難しい

現在、議会の開会状況をインターネットのライブ映像やホームページ等で見ることが出来る。議員が、議会の中でどのような発言をしているかをライブ映像等で見られない人が、家の中や仕事をしながら



▲ 防災無線の活用を

ら聞けるような放送が必要と
思うがどうか。

町長 平成18年度に、インターネットが整備され議会中継システムを導入した。役場、支所、公立病院などの公共施設において、リアルタイムで見ることができるようになった。また、町のホームページからも自宅にいながら議会の状況をライブ中継や録画により見ることが出来るようになり好評を得ている。町民みんなが自宅で議会中継を視聴できる環境ではないが、防災無線を利用しての情報伝達方法は、本来の目的からして、運用上好ましくない。

町内全世帯に光ケーブルの設置や民家のケーブルテレビを導入する方法も考えられるが、いずれも経費負担が巨額となる。当面、現在のインターネットによる議会中継シス

テムを有効に活用し、システム運用の充実を図っていく。

問 現在ある防災無線を利用し、屋外と室内の放送器具を使い分けることができないか。

答 技術的には可能である。仕事をしながら、議会中継を開ける方法はないか。

答 一方的に議会中継を流すしかないの、聞きたくない人は、スイッチを切るしかない。その際に、災害が起こった場合に防災無線が流れない状況になってしまい、防災無線の使命を果たせない。

問 パソコン、OA機器等を利用できる人は、何パーセント位いるか。

答 以前の調査では、40〜50%位の町民の方々が利用している旨の回答があった。高齢者の方々は、あまりなじまないが、若い階層の人たちには、一定程度普及している。

問 他県では、一日に1時間程度議員の一般質問を放送しているところもあるが、そのような方法で放送できないか。

答 町民のみなさんに聞いていただくことについては否定しないが、防災無線の使用は難しい。

総括質問

指名競争入札の予定価格を公表すべきでは

三浦 清人議員



町長 次年度より事後公表をする

これまで再三指名競争入札の予定価格を公表すべきであるという事の発言をしてきた。しかし、そのたびに業者に類推される恐れがあるという理由で今日まで公表を拒んできた。県内36市町村で入札前入札後或いは両方公表しているのは33市町村で公表しているのは我が町と本吉町、蔵王町だけである。情報公開条例まで制定している観点から公表すべきであると思うが、

町長 当該契約後に行われる同種工事の予定価格を類推される

恐れがあり公表は行わなかった。県内の動向を見てもほぼすべての市町村で公表されている。入札及び契約に関する情報の一層の公開の推進が求められているので次年度より事後公表にて実施することとし南三陸予定価格事後公表実施要綱の改正に着手した。

問 当町は1千万円以上は一般競争入札で事後公表している。たった1円の差で類推される恐れがあるとなこの区別が不思議でならない。

答 入札の問題は指摘があり議論をしてきた。今後事後公表という形の中で入札の適正な執行に取り組んでいく。



▲ 行政サービスを低下させるな

草木沢ごみ焼却施設の延命策を

町長 修繕料の範囲内で行う

旧歌津町が平成9年に可燃性粗大ごみ焼却施設として建設。いまや歌津地区の人たちにとっては必要不可欠な大変大事な施設である。合併によって経費の節約を理由に従来行われてきた行政サービスを低下させてはいけない。不法投棄等を防ぐ意味でも焼却炉の延命化を図り一日でも長く使用させるべきではないか。

町長 合併協議の際には、当分の間歌津地区の住民が排出する分についてのみ取り扱うものとしていた。整備後11年が経過し、老朽化が進み至るところに損傷が見受けられる。今後は根本的な延命工事は行わないこととし毎年度予算措置している修繕料の範囲内で維持補修に努める。

問 多額の費用を要する修理は行わないようだが、できるだけ修繕し延命対策を講じられたい。

答 修繕の範囲で対応していくが、不可能になった際には廃止する。クリーンセンターの方で処理する方向になるが、今すぐやめるのではなくそういう状況になった際には地域の皆さんに丁寧に説明をする。



▲ 情報の公開を

総括質問

新たな観光イベントを

山内孝樹議員

町長 自主的に取り組む事業へ応援



仙台・宮城デスティネーションキャンペーンでは当町においても集客効果はみられたが、反面その効果における今後の保障はない。また、町内全域にスポットがあてられたわけではなく、更なる観光客

町長 当町では従来から四季折々のイベントを行ってきたが、新たにサケ祭りや八幡川かがり灯祭りなども開催され、町外から何度も訪れる方が増えてきている。また、伊里前商店街で計画されている白魚祭りは、一大イベントとして定着している田東山つつじ祭り



▲ 更なる観光客誘致を



▲ 地域の魅力を引き出せ

問 お魚通り飲食店など志津川主流になり、DCの効果が見えないという声もあったが、志津川、歌津地区の入り込みはどの位だったのか。
答 入り込み客で7%増、逆に宿泊は地震の影響等で、前年比より5.7%落ち込んだ。イベントにおいては43%増で効果はあったと思う。ま

た、手の届かなかったところも確かにあり、反省点もある。今後、観光協会では歌津地区のイベントに力を入れていきたいと考えている。
問 当町の物産、食材では志津川名産のタコが名をあげたが、タコにあやかり新たなイベントとして凧揚げ(天旗)

祭りなどの取り組みはどうか。
答 TV放送CM大賞でタコが主役の銅賞を獲得した。凧揚げやタコグッツ等を含め、アイディアを一つの材料にし、当町の観光、産業振興に努め頑張っていきたい。

総括質問

滞在型観光農園整備事業の実施を

小山幸七議員

町長 教育体験型旅行をすすめる



デスティネーションキャンペーンは終わった。県内各市町村では、観光客の呼び込み誘致を行っているようだ。都会の人達は都会にないものを求めてやってくる。団塊世代のライフスタイルの変化に伴

町長 滞在型観光農園は、団塊世代、田舎暮らしや農業に関心を持つ都会の方々には需要が多いようだ。遠くから来る方々が体験する施設という点においては、当町には恵まれた自然環境、美しい景観、新鮮でおいしい食材と、県内でも環境の整った良い町と認識している。観光客の誘致という点では一つの考え方選択肢としては考えられるが、事業費も丸森町では5億5千万円ほど掛かっておりその他にも運営費、施設の維持管理費もかかり、費用対効果の面からも慎重に考えてみる必要がある。当町では、平成20年度から開始した、小学生の民泊体験活動である子供農山漁村交流プロジェクト事業は、今後



▲ 美しい景観をいかせ

わち滞在型観光農園である。我が町には湾内に大小の島々が並び景観も良く海から朝日が昇る感動的なシーンが体験できる場所は多くある。県内では丸森町のクラインガルテンがよく知られている。当町は気候的にも景観的にも優れている。観光客を誘致するために滞在型観光農園整備事業を実施する計画はないか。



▲ 滞在型観光農園(丸森町)

さらに教育として本格的に展開しながらより多くの都市部からの誘客に努めていく。

総括質問

ごみ減量の推進状況は

佐々木 弘 議員

町長 ささらなる減量化に努める



(1)南三陸町総合計画書の実施計画では、廃棄物処理対策、ごみの減量化・資源化の推進実施年度は、19年より21年度となっているが現時点での推進状況は。

町長 町長

ごみの減量化・資源化対策として、容器包装リサイクル



▲ リサイクル化の推進を

ラスチック類とその他紙類を分別品目に加え、現在は収集時16分別、排出時22分別を行っている。クリーンセンターへのごみの搬入量はわずかではあるが減少傾向を示している。

問 県民一人1日当たり排出量は1050グラムで、平成18年度ごみ総排出量は10万1千トン、19年度は前年度対比1万4千トンの減量である。宮城県3R取扱上位市町村の一人1日当たりのごみ排出量、1位は色麻町の635グラム。リサイクル(リサイクル率)取り組みの1位は石巻市の31.4%で、いずれも南三陸町は10位以下である。さらなるごみの減量化・リサイクル化の推進が求められるその対策について。

答 分別の細分化を図り、今後もリサイクル率を高める取り組みを続ける。

問 (2)買い物の際に、レジ袋の有料と買い物の持参運動の推進の考えは。買い物を持参しレジ袋を断る意識改革につなげるためマイバックの無料配布は。

答 レジ袋の使用削減が全国的に進んでいる。当町において、



▲ マイバックの普及を

でも、みやぎレジ袋使用削減取組協定に加入し、町民・事業者に対しレジ袋の削減・過剰包装の抑制・買い物の持参等を働きかけ、さらなる減量化に向けて積極的に取り組む。

問 (3)気仙沼衛生処理組合の焼却施設の耐用年数と稼働可能な年数は。

答 燃えるごみの焼却処理を委託している気仙沼地方クリン・ヒル・センターは、平成22年に耐用年数に到達するが、気仙沼地方衛生処理組合では維持補修工事とは別に延

命化対策工事を実施し、平成29年度までの施設の延命化を図る計画となっている。

問 県のごみ広域化計画の推進で、気仙沼・本吉・登米ブロックは平成22年頃となっているが、計画の方向性についてまた、1ブロックに何カ所までの建設が可能か。

答 当町は建設する補助要件に外れ現実的には難しい。登米、気仙沼、本吉ブロックであり、2箇所あった方が災害の際には非常に役立つと思うが、それぞれの自治体の考えもあり理解いただきたい。

総括質問

農林業に町独自のやる気のできる支援を

菅原 辰雄 議員

町長 実行性のある取り組みをしていく



町内の農林業を取り巻く環境は厳しく若者が継承、田舎志向などその新規参入も難しく、担い手の多くが高齢者であり遊休農地や耕作放棄地の増加、山林の荒廃が進み地域や集落消滅に繋がる恐れがある。

町長 町長

農林業の厳しさは全国市町村共通であり課題である。国



▲ 農林業に活力を

の政策や農林業の収益性の低さ等の要因によるが農地や山林は極めて公共性の高い資源であり町民共有の財産と認識しており荒廃を防ぐため実行性ある取り組みをしていく。田舎の暮らしを観光資源と捉えグリーンツーリズムを推進し所得向上を図っていく。新規事業で耕作放棄地解消に向け桑園を畑地に再生する実証試験事業や遊休農地防止と活用し粉砕型刈り払い機を導入、農家に貸し出し農地の再生を図って行く、更に制度資金を活用し耕作放棄地再生活動や体験農園・景観作物栽培事業へ支援をする。

問 規模拡大農家や就農希望者に農地や住宅を斡旋するシステムの構築と町独自に三年間助成し適性作物の選定と販路の確保が必要ではないか。農家出身者の町職員は農繁期などに希望農家を手伝えないか。町内企業が南三陸材を活用し地元職人で住宅建設推進に向け町がリーダーシップを取り山林荒廃を防ぎ雇用促進にも繋がる。当町は昔から一次産業で栄えた町であり農林業を元気にし活力ある南三陸町にと考えるが。

答 農業委員会が推進しているが農地の貸借は無かった。又、町独自の助成は難しいが制度資金を紹介して行きたい。公務員は全体の奉仕者であり、特定の農家への派遣は



▲ 粉砕型刈り払い機

課題も多い。南三陸材は肌色も良いと評判であり都市部に進出している企業もあり意見を聞きながら方策を考えていきたい。



▲ 介護予防の取り組みを

問 オムツ手当ての増額と入院時にも支給を。
答 在宅介護には月6200円支給している。入院者の支給や増額は財政上困難である。

問 ケアマネージャー・ヘルパーなどの専門職の確保は。
答 21年度に訪問看護養成研修を30人規模で行う予定である。

問 地域包括センターの人材は十分か。
答 4月から民間の介護支援事業もでき、予防活動にも人材を振り向けられる。

問 地域包括センターの軸に介護予防教室・特定高齢者介護予防教室・一般高齢者のシルバークッキング教室・認知症講演会などを行っている。
答 4月から民間の介護支援事業もでき、予防活動にも人材を振り向けられる。



町長 第4期介護保険事業計画が作成された。町民が安心して十分な制度利用ができるよう次の点を伺う。
問 介護保険料の町独自の減免は。
答 財政調整基金を取り崩し

問 ヘルパー事業の一部を補助している。社会福祉法人以外の施設利用者の助成は難しい。
答 家族介護手当の支給と家族支援事業の考えは。
問 介護家族のリフレッシュ事業を年一回県内の温泉施設で行っている。家族介護手当で支給は難しい。家族会は心のケアとして積極的に支援したい。

問 ケアマネージャー・ヘルパーなどの専門職の確保は。
答 21年度に訪問看護養成研修を30人規模で行う予定である。
問 専門職のレベルアップ支援と研修期間の補償の考えは。
答 主任ケアマネージャーを中心に質の向上に努めている。研修期間の補償は考えていく。

問 介護予防の取り組みは。
答 地域包括支援センターを軸に介護予防教室・特定高齢者介護予防教室・一般高齢者のシルバークッキング教室・認知症講演会などを行っている。

問 地域包括センターの軸に介護予防教室・特定高齢者介護予防教室・一般高齢者のシルバークッキング教室・認知症講演会などを行っている。
答 4月から民間の介護支援事業もでき、予防活動にも人材を振り向けられる。

一問一答

介護保険制度の充実を

大瀧 りう子 議員

町長 第4期計画に基づき実施

町長 第4期介護保険事業計画が作成された。町民が安心して十分な制度利用ができるよう次の点を伺う。
問 介護保険料の町独自の減免は。
答 財政調整基金を取り崩し

問 ヘルパー事業の一部を補助している。社会福祉法人以外の施設利用者の助成は難しい。
答 家族介護手当の支給と家族支援事業の考えは。
問 介護家族のリフレッシュ事業を年一回県内の温泉施設で行っている。家族介護手当で支給は難しい。家族会は心のケアとして積極的に支援したい。

問 ケアマネージャー・ヘルパーなどの専門職の確保は。
答 21年度に訪問看護養成研修を30人規模で行う予定である。
問 専門職のレベルアップ支援と研修期間の補償の考えは。
答 主任ケアマネージャーを中心に質の向上に努めている。研修期間の補償は考えていく。

問 介護予防の取り組みは。
答 地域包括支援センターを軸に介護予防教室・特定高齢者介護予防教室・一般高齢者のシルバークッキング教室・認知症講演会などを行っている。

問 地域包括センターの軸に介護予防教室・特定高齢者介護予防教室・一般高齢者のシルバークッキング教室・認知症講演会などを行っている。
答 4月から民間の介護支援事業もでき、予防活動にも人材を振り向けられる。

▲ 健康を守る制度に

資格証明書交付の廃止を

町長 法令に準じて対処

町長

町長 国保税の滞納者に資格証明書が発行されている。これは医療費の全額を医療機関の窓口で払うことになる。特に子どもや高齢者の無保険状態は健康の危機が心配される。資格証明書の交付は廃止し、病気やケガ、災害、事業の廃止など「特別な事情」になっないないか、生活の実態を調査する事が大切でないか。

▲ 健康を守る制度に

一問一答

障害者自立支援に遊休農地の活用は

鈴木 春光 議員

町長 補助事業を活用し積極的に支援する



町長 遊休農地を活用し障害者に夢と希望を与え、自立への道づくりとして、遊休農地に花木栽培等の園地、公園をやる考えはないか。
町長 障害者自立支援に向けた就労訓練の中で農作業等も重要な事業である。施設を運営する法人と協議し町も支援したい。

問 当町の障害者の状況と実態は。
答 障害者手帳の所持者は739人で通所による授産施設は二カ所にある。ふれあい農園での作業や公共施設の清掃活動等である。
問 障害者支援の将来計画を伺う。
答 障害者の生活動作の訓練から就労に結びつく訓練が可能な施設運営を考えている。

問 地域住民の協力をいなければ、緑豊かで活力あるふるさと創造事業を活用し、花木の提供等補助したい。地域住民と活動を展開してほしい。
町長 町長が受け入れ実施を考慮するならば私も議員を辞しても頑張ってみたい。障害者と共に、多くの町民が協力し合うことが、夢の実現につながる。花木栽培の実施が、障害者に大きな活力と元気を与える。一緒にやる植栽こそ大きな支援である。
答 障害者が地域の方と触れ合うのは非常に心強い事だ。花桃・桜等花木は提供するの地域の方々が率先し植栽イベントに取り組んでほしい。



▲ 遊休農地に花木栽培を

町長 配合飼料価格の高騰と子牛、枝肉価格の急落により、畜産農家の経営は深刻な状況にある。輸入飼料依存だけでなく飼料加工工場の建設はどうか。
町長 畜産農家の窮状に鑑み、昨年暮に町単独で直接助成を行っている。しかし配合飼料は主原料である、トウモロコシや小麦の国際価格と海上運賃の高騰により上昇している。価格高騰の原因は加工コスト以外の部分であり、飼料工場を設置しても解決は難しい。

町長 昨年暮の助成には感謝しているが、当町の畜産農家は約120戸、飼料の需要量は約5000tである。畜産農家が自立した経営を行う方策が必要だ。
答 具体的には輸入飼料依存を減らし自給飼料の増産を推進することだ。当町は関係機関と連携を図り遊休農地有効活用事業や耕作放棄地解消事業と合わせ、自給飼料の増産

町長 昨年暮の助成には感謝しているが、当町の畜産農家は約120戸、飼料の需要量は約5000tである。畜産農家が自立した経営を行う方策が必要だ。
答 具体的には輸入飼料依存を減らし自給飼料の増産を推進することだ。当町は関係機関と連携を図り遊休農地有効活用事業や耕作放棄地解消事業と合わせ、自給飼料の増産

町長 昨年暮の助成には感謝しているが、当町の畜産農家は約120戸、飼料の需要量は約5000tである。畜産農家が自立した経営を行う方策が必要だ。
答 具体的には輸入飼料依存を減らし自給飼料の増産を推進することだ。当町は関係機関と連携を図り遊休農地有効活用事業や耕作放棄地解消事業と合わせ、自給飼料の増産



▲ 畜産農家が自立できる方策を

委員会
調査報告

よりよいまちづくりを

総務常任委員会における調査

平成20年11月7日町内において、公有財産の利用状況について現地調査を行いました。

○調査の目的

南三陸町総合計画の政策、本町国土利用計画の基本方針に、

- ①公共の福祉の優先
- ②自然環境の保全・継承と循環型社会形成に向けた土地利用の推進
- ③安全安心な町土の確立

が示され、町土利用に当たり基本方針に則して、総合的・計画的に推進するものとして、このことから、町所有の未利用地について調査した。

○調査結果

計画的な土地利用推進を行っている当町は、環境保全と開発行為が調和した土地利用を図り、町民の生活基盤の安定と地域活力の向上を目指



▲ 公有財産の有効利用を

している。閉校後の学校跡地の利用に関しては、早急に地域住民が活用できるように環境整備を図るべきである。また、宅地分譲については、いずれの箇所も完売である

るが、住宅の建築については、地域経済の活性の観点からも働きかけが必要である。特に現在利用されていない吉野沢団地の教員、消防住宅を町営住宅とし活用できるように町当局の働きに期待する。さらに、志津川漁港区画の賃貸借は、来年度の契約更新

時までには売却予定となっており、波伝谷漁港は、売却、賃貸等は、困難であると思うが、漁業団体の進出計画に向け鋭意努力し、完売を望む。今後、三陸縦貫自動車道登米志津川道路の延伸や、関連する国道、県道等アクセス道路の整備により周辺の土地利用

形態が変化していく可能性もあり、豊かな自然環境を維持しながら、バランスの取れた新たな土地利用の推進も必要となる。経済状況が厳しい中、町土の均衡のある発展を図る取り組みに期待する。

産業建設常任委員会における調査

平成20年11月4日・平成21年2月4日、町内において遊休農地の現状と課題について現地調査を行いました。

○調査の目的

本町の農業振興の現状と課題は高齢化、担い手不足等の問題に加え、遊休農地の増大があげられる。要因は、高齢化等による労力不足、生産性が低く土地条件が悪い、農地の分散化があげられる。遊休農地の増加は、地域の景観を損ない、病害虫の温床や、有害鳥獣の隠れ場所となる等、

近隣の農作物へも被害をおよぼし、農業生産の減少等、多くの問題発生に繋がる。今後、生産効率の高い農業の維持や、農地の有効利用が重要であり、遊休農地の現状と課題について調査した。

○調査結果

遊休農地の解消を図るため、本町のブランド品、振興作物の作付けの推進、共同作業による保全活動奨励、農地の集積や集落営農、畜産農家への活用促進、景観作物や保全作物の作付け支援などに取

今後の 委員会活動

議会運営委員会

議会の運営に関する事項

総務常任委員会

主要事業と財政について

産業建設常任委員会

産業振興について

民生教育常任委員会

環境行政について
義務教育費国庫負担金について

議会広報に関する特別委員会

議会広報及び公聴に関する調査

三陸縦貫自動車道建設促進に関する特別委員会

三陸縦貫自動車道建設促進に関する調査

議行財政改革に関する特別委員会

議会における行財政改革に関する調査



▲ 遊休農地の解消を図れ

り組んでいる。遊休農地問題の根源は農業の収益性の低さもあり、日本の産業構造に起因する要素が大きいと思われる。最近は、燃油高騰に加え肥料、飼料、農業資材の値上げで農業経営がさらに厳しい状況となっている。食糧自給率の低さや、地球温暖化による海外の生産危機の実態に加え、安全性を欠く輸入食材問題などを考えると、国内の農業生産を維持する必要はきわめて高く、国産農産物への消費者の理解も得られるものと考えられる。

今後、さらに高齢化が進み担い手不足のなか、遊休農地解消策として、集落営農組織の立ち上げ、地域営農システム、集落共同作業の取り組みなどの手法や市民農園としての活用、植林転用により森林として管理する取り組みなどの施策も考えられる。国は、平成21年度新たな「耕作放棄地解消支援策」を検討しているが、本町に即応した政策を見極めながら、遊休農地解消に意を用いた取り組みを願う。

請願・陳情・意見書

今定例会は、「非核平和自治体宣言」に関する請願書1件、意見書2件が提出されました。その内容についてお知らせします。

「非核平和自治体宣言」に関する請願書

1. 請願の要旨
非核平和自治体宣言をしていただくよう請願いたします。
2. 請願の理由
平和を望む南三陸町民は、核兵器を持つすべての国に対して核兵器全面禁止・廃絶を呼びかけるとともに、日本国憲法と国是である非核三原則（造らず、持たず、持ち込ませず）を守り、これを完全に実施することを強く求めます。

請願者 みやぎ生活協同組合
理事長 芳賀 唯史

上記の請願は、総務常任委員会に付託されました。

国の支分部局等の見直しに関する意見書

三陸縦貫自動車道の全線開通は地域住民の悲願であり、国土交通省東北整備局の高度な技術による事業展開以外に悲願達成の道はないものと確信している。

地方分権改革推進にあたっては安易に廃止・縮小することなく、地域の実情を直視し、国土

交通省の地方支分部局は、事務所・出張所を含め現在の体制を維持、強化し平時の管理を通じて災害時の迅速な対応に必要な情報や知識の備蓄に努めるとともに、未だ多くの役割を国の地方支分部局が果たす仕組みを存続するよう強く要望する。

後期高齢者医療制度の抜本的見直しを求める意見書

75歳以上の高齢者を対象とした後期高齢者医療制度が、平成20年4月1日から実施されました。

しかし、多くの国民から不満の声が上がり、全国600を超える地方自治体から制度の見直しや中止、廃止を求める意見書が採択されている状況です。

よって、国におかれましては、同制度の抜本的な見直しを行い、保険料を国民が公平に負担し、平等に医療を受けることができる持続可能で安心な医療保険制度の構築を行うよう強く要望する。

これらの意見書は採択され、国の関係機関に送付されました。

わたしの意見 あなたの提言

ゴミ捨て場がゴミ屋敷になる

入谷 押館 西城 重子さん



先日、日帰りで某梅の名所へ行ってきました。この不景気な時期にとあまり乗り気ではありませんでしたが、途中から気持ちを入れ替え、折角の小旅行、楽しんで帰ろうと思いい、感じた事が多々ありました。さすが観光地、平日だというのにたくさんの人で賑わっていました。たくさんのお店が並びなつかしさと活気に癒されました。若い世代は少なかつたのですが、杖をつき腰を曲げたお年寄りがオシャレをして歩く姿や、車椅子で介助を受けながら楽しんでる姿にもホッとする思いがありました。少々大げさになりますが、

だまだ捨てたもんじゃない”と思う一瞬でした。その傍らで、地元の中学生在がゴミ拾いをし、年配の方々が観光案内や駐車場の整理、駅に降り立ってば、迷っている私達に即、目配りをしてくれました。受け入れ側の地元に対する関心と学習、ユーマアと笑顔にとても好感を持ちました。短時間で身につけた技ではないと思います。

我家は、中学生のファームステイ先として今年で4年目になります。地元に関して、学習の余地が多いにあります。若い世代とふれあう機会に恵まれ、今年によく学びよく語り（聞き）よく笑うことを目標にがんばろうと思っています。やはり人と人とのふれあいが大事です。

もう一つの世界？

戸倉 水戸辺 村岡 賢一さん



世はまさに大不況時代の到来かと上を下への大騒ぎとなつて、我が国家も大規模な財政出動をかけた必死に景気の回復を図っています。町には失業者が溢れ、仕事を探すが大変、だといふ事が毎日のように報道されていますが、私達一次産業を生き業としている者にとつては、考えられない出来事のように思われます。自然を相手にしていれば季節にやらなければならぬ作業が次々とやつて来ます。良くも悪くも収穫の為の仕込みをして行かなければなりません。苦しくてもやり続けなければならぬのが現実で

す。私達がまだ鼻を垂らしていた頃はそれがあたりまえだったのに？世の中は豊かになりましたが、一次産業は反対の方向に進んでしまいました。若者は楽でお金になる仕事を求め都会に：しかし、今回の不況を招いた原因は、実態のない口先だけのマネーゲームのなれの果てのような気がします。政治にあつても、不安材料だらけのていたらしく、どこかの市長さんにあつては、タクシ一代の答弁に始終記憶にないの一点張り、どこかで何度も聞いた事が？我々の仕事はうそをつかないのが原則、なぜなら結果がそこに待っているから。世の中の浮き沈みを横目に累々と続くもう一つの世界がここにありません。

編集後記



3月定例会では、平成20年度補正予算、平成21年度当初予算、条例改正など、全議案が原案通り可決されました。

また議会中に、全国・県町村議会議長会の事務局職員が来町され、活発な議論を交わす当議会を傍聴されました。

南三陸町が誕生し実に4年の月日を送り過ごすこととなります。我々にとりましてもひと区切りの年を迎えることとなりますが、住民皆さんの声を行政に届け、まちづくりとしての活動の場を議会だよりを通し報告をしてきました。

初心を胸に皆さんの望むべき意に添えるべく議会活動に専念し、任期を全うしたいと念じております。

委員 山内 孝樹